

消費税率を5%に引き下げ、 複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める請願

年 月 日

住 所

請願者 団体名

代表者

代表者
個人印

【請願趣旨】

新型コロナウイルスの感染拡大で、世界経済は未曾有の不況に陥りました。なかでも日本経済は消費税率 10%への引き上げと複数税率の実施と重なって急激に景気が悪化し、消費不況を深刻にしています。

いま、世界では、即効性のある経済対策として事業継続や雇用維持に役立つ消費税の引き下げをはじめ、法人や金融所得への課税を強める動きが広がっています。ポストコロナを見据えた税収確保は、低所得者層ほど負担が重い消費税を中心とするのではなく、能力に応じた負担を求める税制によるべきです。

2023年10月から始まるインボイス制度は、免税事業者に新たな税負担を迫る増税策に他なりません。フリーランスや一人親方など担税力の弱い事業者への消費税負担を求めれば、「多様な働き方」さえ成り立たなくなってしまう。

新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者の存在が不可欠です。「税制で商売をつぶすな」の願いを込め、以下の事項を請願します。

【請願事項】

- 一、消費税率を5%に引き下げること。
- 一、消費税の「複数税率」と「インボイス制度」は直ちに廃止すること。
- 一、庶民に重い不公平な税制を正して財源を確保すること。

全国商工団体連合会（取扱団体： ）